

「フードドライブ2025」に係るご質問と回答		
質 問		回 答
受付できる食品について		
1	外装破損とはどの程度か。 例には、缶詰のへこみは良いとあるが。	大きく破損して、中身が見えているような状態、受け取った人が困惑するような状態は不可。 箱の角がつぶれている、缶が少々へこんでいるが中身は問題ない場合は受け付けることができます。
2	自社製品で、例えば大きな缶詰一号缶なども持参する食品に入れても良いか。	今回は、社員を対象としたフードドライブで集まった食品のみを対象としています。 自社製品や、商業用の商品、会社でストックしている災害用の備蓄品の場合は、直接支援団体等に寄付をお願いします。 支援団体へ直接寄付をされる場合は、県消費生活課ホームページに支援先を載せているので、支援先に直接ご相談ください。今後も継続した支援をお考えいただければ幸いです。
3	持ち込む食品は、少なくともよいか。社内フードドライブを実施して、1つや2つしか食品が集まらなかった場合など	持ち込む量は少量でも大歓迎です。食品ロス削減に取り組んでいただいたことに感謝します。 これから食品ロス削減の意識が浸透していけば、フードドライブで集まる食品の量も少なくなっていくと考えています。 今回のフードドライブは、食品を有効活用し、食品ロスを削減することを目的としています。そのため、食べる予定がある食品を無理して集める必要はありません。もらったけど余っている食品、買いすぎてしまった食品など廃棄につながりそうな場合をお考え下さい。
4	社員の家の防災備蓄品の入れ替えでも良いか。	食品の条件に合えば、社員様の御家庭の防災備蓄品も家庭の未利用食品としてお持込みいただけます。
のぼり旗について		
5	過年度に参加した時にのぼり旗をもらったが、今年ももらえるのか。	今年度（令和7年度）のぼり旗の配布はありません。 過年度に配布したのぼり旗をお持ちの事業所様は、今年度も引き続きご使用いただけます。
結果の公表について		
6	結果を県のホームページで報告とあるが、直接支援団体に寄付した場合は、名前は載らないのか。	県消費生活課のホームページ等で公表するのは、本事業の主旨である事業所社員、職員対象のフードドライブ活動に参加いただいた事業所様です。 各事業所様、普段から独自で、食糧支援や食品ロス削減等の活動をされている場合は、ぜひ貴社のホームページで消費者に向けて情報発信をお願いします。 消費者にとって企業の皆様の取組みを知る良い機会になります。